



MESSAGE NOTES

よりよい生き方 パート 2

互いに違う

1 コリント人への手紙 12:14-20

ロイド・フラハティ

1. 神さまは、私たち一人ひとりを違う存在として、目的をもって造られた。

互いに違うことは、神様のデザインの一つです。

1 コリント人への手紙 12:14 実際、からだはただ一つの部分からではなく、多くの部分から成っています。

他と違うからといって価値が低いというわけではありません。各々、忠実に神様がデザインされた者となっていくなら、教会は健全です。

2. 健全なコミュニティは個性を消さない

イエス様は様々な弟子達を選びました。一静かな人、情熱的な人、現実的な人、不完全な人—そのような人達で家族を作ったのです。

ローマ人への手紙 12:10 兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい。

この聖句は、自己中心的な個人主義に陥らないように、私たちを守ってくれます。

3. 違いが私たちを強くする

私たちが同じ目的に向かって共に働くとき、お互いの違いは私たちを強めます。

1 コリント人への手紙 12:4 さて、賜物はいろいろありますが、与える方は同じ御霊です。

私たちには、励ます人、助ける人、まとめる人、教える人、聞く人、寛容な人、創造的な人、安定した人、暖かく迎える人達が必要です。誰も、一人ですべてをできません。神様は私たちを異なって造られたので、愛を持って互いに助け伝え合うことができるのです。

まとめ:

神さまは私たちがお互いのコピーになることを求めてはいません。

神さまは私たちに、神様が造られた通りの自分になるよう忠実に取り組みつつ、互いに愛しあうことを求めておられます。